

調布市の地域猫に関する 取組について

調布市環境政策課生活環境係
令和7年10月18日（土）
@調布文化会館たづくり 大会議場



地域猫とは

地域の理解と協力を得て、地域住民の認知と合意が得られている、特定の飼い主のいない猫。

その地域にあった方法で、飼育管理者を明確にし、飼育する対象の猫を把握するとともに、フードやふん尿の管理、不妊去勢手術の徹底、周辺美化など地域のルールに基づいて適切に飼育管理し、これ以上数を増やすことなく、一代限りの生を全うさせる猫を指します。

(環境省：住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン)



地域猫活動とは

地域猫活動は地域住民と飼い主のいない猫との共生をめざし、不妊去勢手術を行ったり、新しい飼い主を探して飼い猫にしていくことで、将来的に飼い主のいない猫をなくしていくことを目的としています。

ただし、実際に数を減らしていくためには、複数年の時間を必要としますので、当面は、これ以上猫を増やさない、餌やりによる迷惑を防止するなどを目的としています。

地域猫活動は、「猫」の問題ではなく「地域の環境問題」としてとらえ、地域計画として考えていく必要があります。

(環境省：住宅密集地における犬猫の適正飼養ガイドライン)

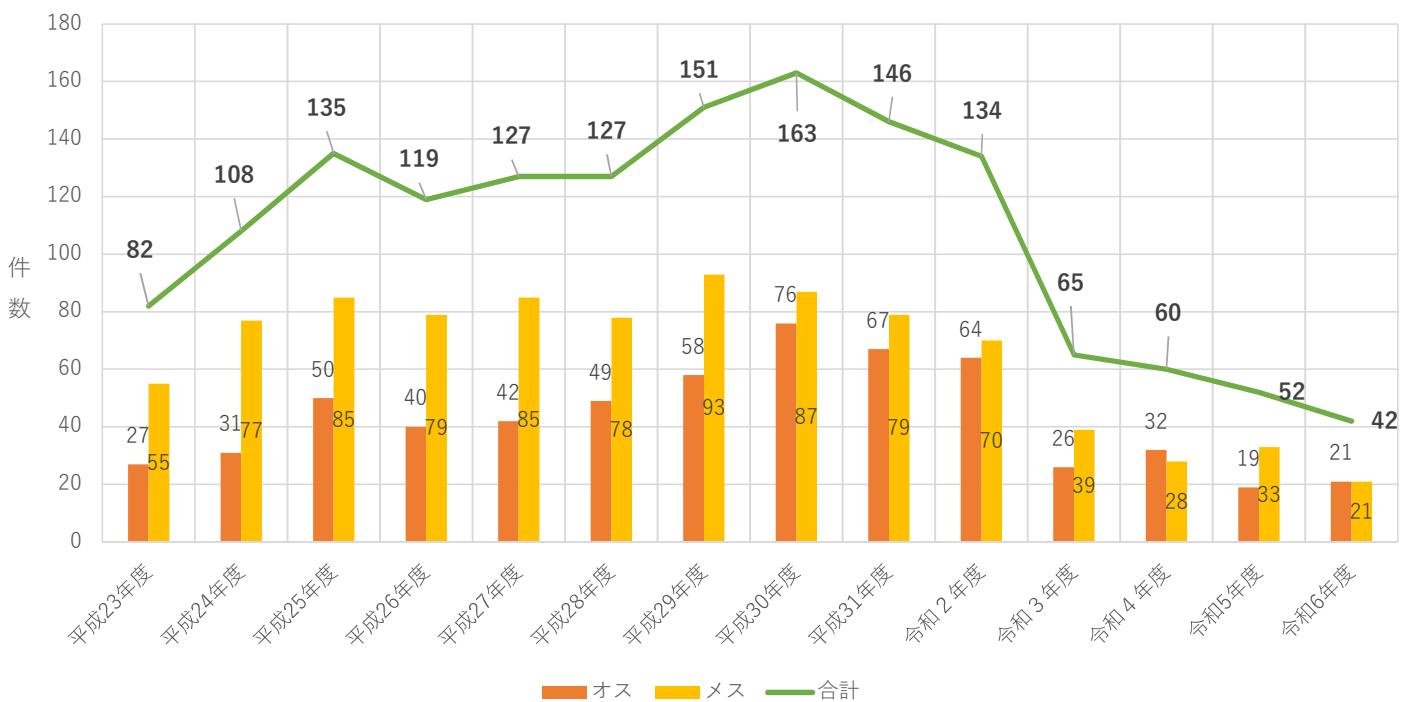


調布市の現状①

～不妊・去勢手術費補助金の現状～

- 平成17年に「調布市飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金交付要綱」を策定
- 開始当初は、抽選で交付者を決定
- 平成30年をピークに徐々に申請数が減少

調布市 飼い主のいない猫の
不妊・去勢手術費補助金申請



調布市の現状②

～令和6年度の猫に関する苦情・問い合わせ件数～

- 無責任な餌やりの苦情 1件
- 迷い猫に関する問い合わせ 1件
- 猫の捕獲協力依頼 5件
- その他 7件



調布市の現状③ ~昨今の状況~

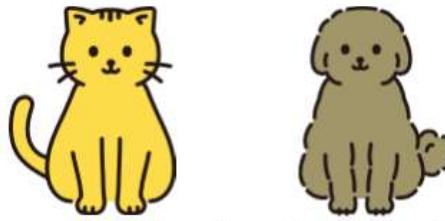
- 補助金の交付状況が減少しや市民からの声等から市内の飼い主のいない猫は減少
- 地域猫活動ガイドラインを守らず活動をしている人は存在する
- 近隣自治体から移ってくる猫がいるため、継続的な活動が今後も必要
- 捕獲を行える人材の固定化

調布市の現状④

■ 高齢者のペット問題の顕在化

飼い主の皆さん、準備してますか？

～ペットのために4つの備えをしましょう～



4 つ の 備 え と は ？

① 突然の対処に向けた備え～ケガや病気・事故による入院～

一時預かり先を見つけておく（血縁者・民間事業者など）
ペットを預ける準備をしておく（本人の心構え、ペットを預ける練習など）

② 要介護状態進行への備え～福祉施設入所、お引越し～

終活ノートに記す
新たな飼い主を探しておく
ペットを預ける準備をしておく
ペットのための信託を検討する

③ 適正飼育のための備え～ペットが病気になった、お世話ができない～

繁殖しないよう不妊・去勢手術をする
かかりつけの動物病院を見つける
しつけやケアなどを民間事業者のサービスを利用してみる

④ 生活環境を守る備え～掃除ができない、近隣から苦情が来てしまった～

ペットの数を増やさないために不妊・去勢手術をする
ペットの世話や部屋の清掃を頼める人や業者を見つける

～今後について～

※専門業者への委託によるアライグマ・ハクビシン防除事業の開始



もしもの時に備えてみましょう

記入日 年 月 日

○飼い主の名前

ペットの情報

名前 生年月日

種類 犬 · 猫 · その他 ()

性別 オス メス

避妊・去勢手術の有無 有 無

かかりつけの動物病院

お世話ができなくなったときにお願いする人

氏名

住所

電話番号

本人の承諾（サイン）

メモ

ペットに関する相談

東京都動物愛護相談センター多摩支所 042-481-7435



作成

調布市環境部環境政策課生活環境係 042-481-7087

調布市が行っている主な取組

- 1 地域猫活動ガイドラインの作成
- 2 地域猫ボランティア制度
- 3 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金
- 4 捕獲器の貸出し
- 5 ガーデンバリアの貸出し



| 地域猫活動ガイドラインの作成

- ・調布市では、飼い主のいない猫問題の解決のために、地域猫活動を推奨
- ・地域住民・行政・ボランティアが一体となって取り組んでいき、人と猫とが共生できる地域づくりを目指す。
- ・「地域猫活動」ガイドラインを作成することで、行政やボランティアの役割を明記することで地域住民にこの活動の理解を図ることを目的。



市HP
「地域猫活動（飼い主のいない猫対策）」

2 地域猫ボランティア制度

- ・ 地域猫ボランティアとは、調布市の「地域猫活動ガイドライン」に沿った地域猫活動を行い、又は地域住民に対し活動の助言、サポートを行うボランティアです。
- ・ 登録者には手帳と腕章を渡しています。
- ・ 手帳の更新は、地域猫セミナー＆ボランティア講習会への出席が必要



3-① 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費 補助金

- 補助金の上限額はオスが1匹あたり8,000円、メスが1匹あたり15,000円。
一年度あたり、一人2匹まで申請できます。
- 手術をする動物病院に指定はありません。
(市外の動物病院の利用も可。)
- 申請場所は調布市役所環境政策課（市役所8階）



3-② 飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費 補助金

1. 「飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金交付申請書」を市に提出
2. 市は申請内容を審査し、「飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金交付決定通知書」を申請者に交付
3. 申請者は、交付決定通知書の日付から60日以内に対象の猫を捕獲＆手術
4. 手術後、①飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金実績報告書②手術をした猫の手術前後が分かる写真③動物病院の領収書と明細書④請求書の4点を市に提出
5. 市は内容を審査し、「調布市飼い主のいない猫の不妊・去勢手術費補助金額確定通知書」を申請者に交付。申請者が指定した銀行口座に補助金を入金

4 捕獲器の貸出し

- ・貸出し期間は3週間まで（延長可）
- ・費用は無料
- ・希望者は事前に環境政策課までご連絡をお願いします。

（☎042-481-7087）



5 ガーデンバリアの貸出し

- ・貸出し期間は2週間まで（延長可）
- ・1件につき、原則2台まで
- ・費用は無料（稼働に単1電池4つが必要）
- ・希望者は事前に環境政策課までご連絡をお願いします。

（☎042-481-7087）

- ・設置時の向きに注意



以上です。

ご清聴いただき、ありがとうございました。

